

教科目名 美術（Fine Art）

学科名・学年：全学科 1 年

単位数など：選択必修 1 単位（前期 1，授業時間 19.5 時間）

担当教員：安東みのり

授業の概要			
人間には、美的感性にあふれた創意と、それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている。自らの手を通して考え、想像し、感動を持ち創り出す活動の中で、全人的な想像力や感性を高めることを目標とする。 創造的技術者としてのセンスを磨き、探究心、分析力、イメージ力を身に付けることを目標とする。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 表現（描く作る）することを中心に、表現の喜びを知る。 (2) 自己の持つ独創的なセンス、創意性を発見し具現化しようと試みる。 (3) 美術に親しみ、愛する心を身につける。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2	第 1 章 素描 1.1 構成デッサン	・観察を基に対象を描くことができる ・明暗（陰影）を付けることができる ・モチーフの特徴や美しさを活かした構成を考え、表現できる 課題①15 点	【理解の度合い】
3	第 2 章 デザイン 2.1 色彩の基礎	・色のもつ性質、効果について理解することができる 課題②10 点	【理解の度合い】
4 5	2.2 配色とデザイン	・色彩調和の基礎を理解し、配色を考えることができる ・創造的な形やレイアウトの工夫ができる ・最後まで取り組み完成できる 課題③20 点	【理解の度合い】
6 7 8 9 10	第 3 章 立体表現 3.1 アイデアスケッチ 3.2 立体制作 3.3 レポート作品説明	・自分の制作意図をまとめ、それを作品として表現することができる ・自らの手を通して考え、立体造形能力の向上を図る ・説明の力、自己アピール能力、コミュニケーション能力の向上を図る 課題④5 点 課題⑤20 点 課題⑥5 点	【理解の度合い】
11 12 13	第 4 章 色彩表現 4.1 鑑賞「生活を彩るものから」 テーマをもとに図案を考える 4.2 扇面画着色	・作品のよさや美しさを味わい、その表現効果などについて理解することができる ・主題を決め、参考資料をもとに図案の構想を練ることができる ・画面の形をいかしたオリジナルの構成、描画をすることができる ・表現意図に応じた色調で彩色することができる 課題⑦5 点 課題⑧20 点	【理解の度合い】
履修上の注意		課題作品及び演習プリントの提出期限を厳守すること	【総合達成度】
教 科 書		なし	
参 考 図 書		表現の手掛かりとなる資料は教員の方で適宜準備する	
自学上の注意		所属する専門工学と美術との関わりを考える	
関 連 科 目		政治・経済	
総 合 評 価		・中間、期末試験および再試験は実施せず、達成目標と評価方法(1)から(3)に基づき、授業での課題 8 作品の評価とする ・課題①15 点、②10 点、③20 点、④5 点、⑤20 点、⑥5 点、⑦5 点、⑧20 点の 100 点とし、総合評価 60 点以上を合格とする	【総合評価】 点